

年間第33主日

貧しい人のための世界祈願日  
ミャンマーデー（献金）

第一朗読 マラキ 3・19-21a  
第二朗読 ニテサロニケ 3・7-12  
福音朗読 ルカ 21・5-19

2025.11.16 9:30 ミサ  
カトリック高円寺教会  
主任司祭 高木健次神父

今日のミサの初めにも申し上げましたけれども、今日は全世界の教会にとって  
「貧しい人のための世界祈願日」であると同時に、東京教区では「ミャンマーデー」  
になっています。

このミャンマーデーは、東京教区だけのものなので、「聖書と典礼」に出ていない  
し、共同祈願にも盛り込まれていないわけですけれども、わたしたちはこの日を忘  
れていなければならないと思います。それは、ミャンマーデーの由来そのものは、毎年申し上げ  
ているようですが、この東京の教会が戦争の後 —— この教会も空襲で聖堂が  
焼けてますね —— 復興していかなきやいけない中で、同じように敗戦国であり、そ  
してこれから復興しなければならなかつたドイツのケルン教区のその当時の枢機卿  
様のイニシアチブで、あり余っているときに援助するのは本当の援助ではないのだ、  
自分たちが乏しいときにこそ、同じように他の人の痛みに対して開かれる —— そ  
ういうことで、実は、信仰というか精神の復興を果たすためでもあったわけですけども  
—— 東京の教会を援助しようとケルンの人々に呼びかけてくださって、そして、  
実際に復興だけではなくて、宣教のために東京教区の多くの教会がケルンの援助で出  
発することができたし、今のカテドラルもケルンの援助で建っています。

で、そういう体験を頂いたわたしたちは、その精神を、今度は同じ気持ちで、  
同じキリスト信者が少数であるアジアのどこかの国との繋がりの中で、関係を深めて  
いこうという趣旨で、ミャンマーと特別な関係の中に —— まずミャンマーの教会つ  
ていうふうに決めたのは、当時の白柳大司教様が個人的にミャンマーの大司教様と繋  
がりがあったからっていうことではあるわけなんですけども —— もう何十年も、東

京教区はミャンマーの教会との靈的な絆とともに、長年軍事政権の圧迫下にあるミャンマーのカトリック教会を支援するために —— 具体的にはミャンマーデーの献金はミャンマーの教会の神学校のいろんな施設の整備や、神学校のために使われる献金なんです —— ずっとそれをしていいるということです。

一方で、今ミャンマーは大きな地震の災害にも見舞われているので —— そのための募金については数週間前にキム委員長が皆さんに呼びかけてくださいましたけども —— その募金箱も置いてあります。それは、正規のルートだとどこにお金がいつちやうかわからない。ミャンマーなのでミャンマーの教会を通して、神学校以外のむしろ直接的な人々への支援に使われる教会のそういう活動へと、ミャンマーの人々の災害の支援に使われるということになってるんです。

また、「貧しい人のための世界祈願日」っていうのもやっぱり同じ趣旨です。自分たちのことだけではない、自分が苦しい時こそ他者の痛みにも共感することができる瞬間なんだという思いの中で、繋がっていこうという思いで、このごミサを通して恵みを願いたいわけです。

今日の福音を見れば、イエス様が神殿の崩壊や天変地異や戦争、そしてまた迫害、そういうことが起こるのだということを語られている。そういう箇所が朗読されたわけですけども、それは、わたしたちが今体験していないからといって、未来のいつかに起こることではないわけです。それらのこと —— 天変地異や迫害や戦争 —— は、既にこの世界の中で起こっている。で、そういう渦中ないからといって、それは今ではなくて未来のことなんだと、自分に振りかかってこなければそれは起こっていないと同じなんだというふうに目をつぶるのは、信仰のものの見方ではないわけです。イエス様は他の人の苦難も同じように感じる、また他の人の幸せを通して自分自身が喜びを感じる、その心の中に神様の恵みがわたしたちを育んでくださるのだということを、「神の国」っていう表現で —— 死んだあとに行く場所じゃありません —— 人々が互いに他者を思いやり、他者の苦労に心を痛め、他者の幸せに幸せを感じる、その時を通して神様の恵みが広がっていく、その恵みへと招かれているのが今日のみ言葉でもあるように思います。そのように読んでいいのではないかなと思うんです。

わたしたちが、今日特に —— しつこいようですけども —— 世界の教会にあっては「貧しい人のための世界祈願日」だし、東京教区にとってミャンマーデーにあたって、わたしたちがそれぞれの繋がりの中で、またその繋がりへと呼んでくださったイエス様とともに歩むことを通して一人ひとりが豊かにされていく。そこに希望を置き、また、信頼を持って、自分の狭い世界から神様のものの見方、あるいはキリストの体の繋がりへと導かれるように、わたしたちの心を開いてくださるように、そして行動への勇気を奮い起こしてくださいますように、恵みを願いたいと思います。

---

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC      <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>  
携帯    <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>